

# 坂井市議会だより



坂井市

第48号

2018.4

3月定例会



表紙：えちぜん鉄道三国駅舎落成式

## 主な内容

当初予算概要	2~3	坂井市議会BCP(業務継続計画)	14
常任委員会報告	4~9	定例会審議結果	15
一般質問	10~13	広域連合・一部事務組合議会報告	16
補正予算概要	13		

議会のホームページが充実しました。  
ホームページから過去の議会だよりもご覧いただけます。

<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/>



雄島小学校 6年  
森井 凜 さんの作品です。

「坂井市議会だより」  
の題字は、





# 平成30年度予算 一般会計

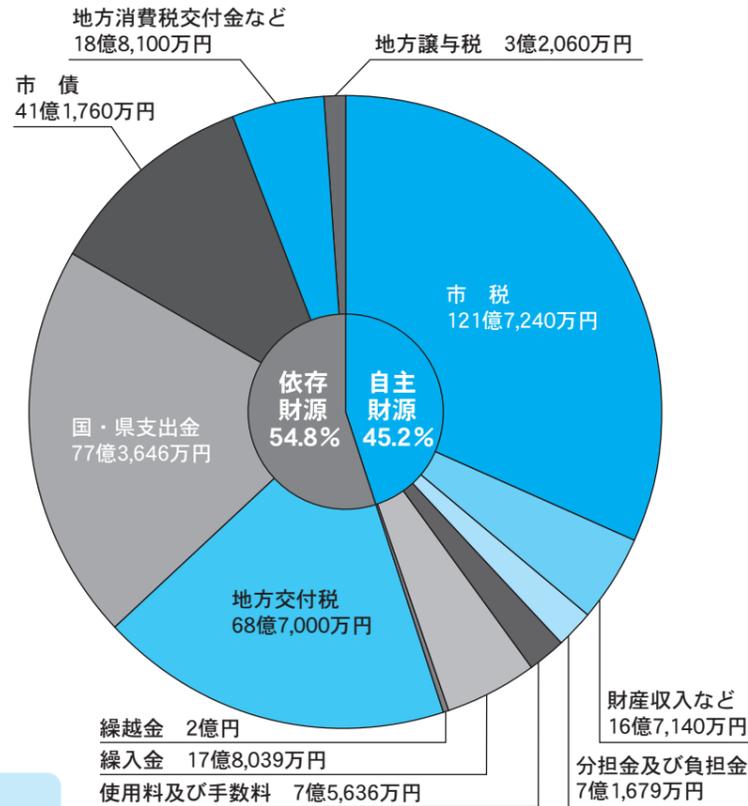
総額 382億2,300万円 (前年比 △0.3%)

## 歳入

## 歳出

### 用語解説(歳入)

- 自主財源・・・市税など、市が自前で集め、自由に使える財源
- 依存財源・・・国や県などから受ける財源(使途限定)
- 分担金・・・特定の事業に伴う受益者からの収入
- 使用料及び手数料・・・住民票の交付手数料や各公共施設の使用料など
- 繰入金・・・財政調整基金などから繰り入れられる財源
- 地方交付税・・・自治体間の財源格差調整のため、国から交付される財源
- 国・県支出金・・・特定の事業を行う場合に、その経費に充てるために国、県から交付される負担金や補助金など
- 市債・・・借入金
- 地方消費税交付金・・・県から交付される市町村分の地方消費税



### 主な重点施策予算 (★:新規、☆:拡充)

#### 住 民とともに育むまちづくり

- シティセールス事業 3,050万円
- ☆コミュニティセンター施設整備事業 18億1,274万円
- ☆女性活躍推進事業(女性リーダー養成など) 458万円

#### 多 様な都市活動を支えるまちづくり

- 新幹線対策事業 2億805万円
- 末政・随応寺線道路改良事業(継続) 2億50万円

#### 地 域の活力を創造するまちづくり

- ★住みやす芸人活用事業 442万円
- ★産地パワーアップ事業(連棟農業ハウス整備事業補助) 2億6,367万円
- ☆林道維持管理事業 1,160万円

#### 安 全で快適な暮らしを支えるまちづくり

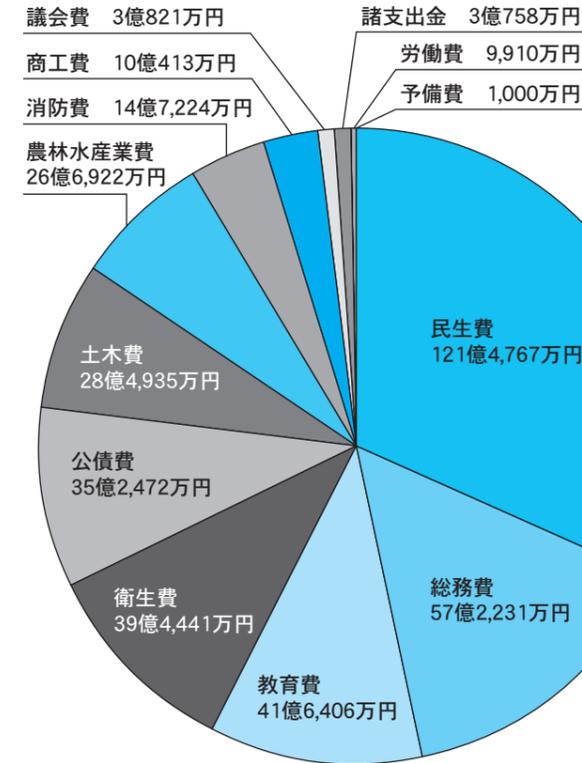
- ★防災行政無線事業(Jアラート新型受信機導入) 290万円
- 三国駅周辺整備事業(継続) 2,863万円
- ★橋りょう長寿命化事業 3,750万円

#### 美 しい自然と共生するまちづくり

- ★電気自動車充電設備設置補助金 300万円
- ★雑がみチャレンジ回収モデル事業 90万円

#### 誰 もが笑顔で暮らせるまちづくり

- ☆子ども医療費助成事業(窓口無料化) 3億829万円
- 多子世帯子育て支援事業(子育てすくすく商品券) 1億1,007万円
- ★ひとり親家庭児童学習支援事業 146万円



### 用語解説(歳出)

- 民生費・・・福祉全般にかかる事業、各種医療扶助、保育施設などにかかる経費
- 衛生費・・・健康増進事業、一般廃棄物収集処理、環境対策などにかかる経費
- 教育費・・・小中学校の運営・整備、生涯学習、図書館の運営などにかかる経費
- 土木費・・・道路の整備、除排雪、公営住宅などにかかる経費
- 農林水産業費・・・農業や林業、水産業の振興などにかかる経費
- 公債費・・・借入金に対する返済金

平成30年度予算は、行財政改革に取り組むとともに、選択と集中による事業の重点化を進めながら、地方創生の推進を図るため、「坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施する予算編成となっています。

#### 生 涯を通じて学び・育つまちづくり

- 小学校施設整備事業(大規模改造工事) 4億210万円
- ☆福井しあわせ元気国体実行委員会負担金 3億7,500万円
- 丸岡城国宝化推進事業 1,390万円



福井しあわせ元気国体・大会啓発活動

#### 地 域全体でもてなすまちづくり

- 越前加賀インバウンド推進事業 2,125万円
- ★北前船寄港地フォーラム開催事業 300万円

### 【市の予算規模】

会 計	予 算 額	前年度比較
一般会計	382億2,300万円	△0.3%
国民健康保険特別会計	83億2,155万円	△15.7%
後期高齢者医療特別会計	9億3,162万円	5.5%
水道事業会計	37億7,356万円	33.5%
公共下水道事業会計	57億1,407万円	△1.8%
農業集落排水事業会計	4,294万円	△8.7%
病院事業会計	25億1,963万円	0.6%
総 計	595億2,638万円	△1.3%

# 総務常任委員会報告



▲委員会の様子

## 主な質疑内容

### 総務部

- 問** ゆりの里公園指定管理者委託料の増額補正について所管課とどう協議をしたのか。
- 答** 所管課と協議の中で農産物直売所の収入の見込みの部分について予測がつきにくかったと聞いている。
- 問** 防災行政無線が、聞こえないという市民からの苦情に対してどのように回答しているのか。
- 答** 個人からの問い合わせには、室内の場合は窓を開けてもらい、また防災メールやテレビなどで情報を得ようようお願いしている。
- 問** みくに市民センターは、災害時の避難所となるのか。
- 答** 市民センターは、支所と建物が一体化しているため、避難所としての予定はなく、他の支所と同じように防災拠点という位置づけになる。
- 問** 今回の大雪で情報の発信ということが、非常に重要視されたと思うが、リアルタイムで情報を流せなかったのはなぜか。
- 答** 雪害の情報の提供については、学校の休校などを提供していたが、担当課ごとに提供しており分かりにくかったところがある。

災害対策本部から一覧のような形で情報発信するなど、検証をして今後は分かりやすく提供していきたい。

- 問** 今年の避難訓練はいつ行うのか。
- 答** 丸岡地区は6月に丸岡南中学校で開催する。この防災訓練は、福井震災から70年を迎えるに当たって行われるイベントの1つである。
- また、8月19日に一時避難訓練を全市で行い、避難所開設訓練を三国南小学校、春江東小学校、兵庫小学校で行う予定である。

### 総合政策部

- 問** 三国湊地区の地域おこし協力隊について、試験的に委託事業で実施するのか。
- 答** 地域おこし協力隊は、全国の自治体間での競争が激しく応募がないのが現状であり、ノウハウのある事業者を採用からマネジメントまでを委託したいと考えている。
- 問** 国体でのアンテナショップ出店についての具体的な内容は。
- 答** 全期間においてサッカー2会場、バレーボール2会場に、出店を計画しており、今後これらのブースから全国に情報発信できるような仕掛けを作っていく。
- 問** 結婚サポート事業の企業運動会はどのような企画なのか。
- 答** 現在イクボス宣言をしている企業が50社ほどあり、その企業を中心に参加者を募り、競技種目を通してコミュニケーションを取りながら、独身者を対象とした競技を行うことで、つながりを生かした縁結びを推進したい。
- 問** 寄附による市民参画制度のおかえりUターン奨学金支援事業で、目標額は5千万円だが、毎年

やり続けなくてはならない事業ではないか。

- 答** 「市長におまかせ」の中からこの奨学金事業に分配し原資として1億円を積み、5年間は継続する必要があると考える。
- 毎年20人を5年間募集し、100人に対して1人当たり上限100万円を支援したいと考えている。
- 問** 城と織物のまち創生事業はどのように行うのか。
- 答** 平成30年度の事業では、丸岡ファインテックス協同組合と連携した「既存工場社屋を活用した丸岡まち歩きの魅力向上」、「ふるさとかかしの制作・補修」、そして「現存12天守を会場とした全国各地でのお城PR」の3つの事業を計画している。
- 現存12天守同盟では、昨年丸岡城で実施したお城にまつわるクイズを各城で実施し、それぞれの勝者が丸岡城に集い決勝を行う取り組みを計画している。

### 財務部

- 問** 雪害による財政状況についての今後の国の支援と支出の増加の関係は。
- 答** 今回の雪害などの経費増に伴う国の支援については、国に対して特別措置を要望している現状であり、本会議最終日に追加補正で提出する。
- 問** ふるさと納税が全国的に増える中、寄附市民参画事業の使い道を指定しない寄附については、自由に使用できる財源として考えられるのか。
- 答** 寄附の目的にあった内容の事業であれば、財源として活用してほしいとの投げかけは担当課に行っているが、最終的には検討委員会の中で判断される。
- 問** 本市において1千万円以上の所得者の割合はどの程度か。
- 答** 平成29年度の課税データによると7万2,032人のうち、所得金額が、1千万円以上は、597人であり、約0.8%である。その中で配偶者控除をとっている人は169人で、全体の約0.2%である。

## 寄附による市民参画制度

**坂井市版ふるさと納税**

寄附金の使い道を選ぶことができるのも、ふるさと納税の大きな魅力のひとつです。  
坂井市では、寄附金の使い道を市民から募り、その決定にまで市民の意思を取り入れるという全国で唯一の取り組みを行っています。  
返礼品を選ぶときに、寄附金の使い道を選んでみませんか？寄附金の使い道を考えることは、あなたの好きな「ふるさと」を元気にする第一歩になるかもしれません。

目標額 5,000万円

**奨学金支援に関する事業**

事業名 | おかえりUターン就職 奨学金支援事業

目標額 400万円

**協働のまちづくりに関する事業**

事業名 | みんなで子どもの安全見守りたい

目標額 3,000万円

**環境保全に関する事業**

事業名 | こどもの森保全事業

目標額 700万円

**町内の案内図**

東尋坊など有名な三国地区に関する事業

事業名 | 歴史と文化の薫るまちづくり事業

目標額 3億円

**丸岡城および丸岡地区に関する事業**

事業名 | 国宝化を目指す日本最古の天守閣 丸岡城修復元事業

目標額 1億5,000万円

**ゆりの里、春江地区に関する事業**

事業名 | 香江ゆりの里 フラワーファームづくり事業

目標額 150万円

**かがしのまち、坂井地区に関する事業**

事業名 | さかいマイロード事業

▲寄附による市民参画制度

# 教育民生常任委員会報告



▲委員会の様子

## 主な質疑内容

### 市民福祉部

- 問 この冬、インフルエンザが流行したが、国民健康保険特別会計を圧迫する状況ではなかったのか。
- 答 現在のところ、際立って会計を圧迫するという状況ではない。
- 問 地域力強化推進事業「我が事・丸ごと」地域づくりとはどのような事業内容か。
- 答 貧困や高齢者の増加などの問題について、地域の人々が自分のこととして考え、それらの課題を地域の中で解決できるような力を備えることであり、国のモデル事業として実施する。
- 問 平成30年度新規事業のひとり親家庭児童学習支援事業に取り組むことになった背景は。また補助金は何年受けられるのか。
- 答 この事業は、ひとり親家庭の児童に対して、ボランティアの講師による子どもたちが気軽に参加できる学習会を開催するもので、平成29年度は県が主体となって運営していたが、平成30年度から市が国の補助金を受けて実施する。  
補助金については、期限はなく継続的に事業が実施できる。

- 問 特定健診の受診率は年々微増してはいるが、今後の方向性について、どのように考えているのか。
- 答 プロポーザルで業者に委託し、受診の啓発や勧奨を実施しているところであり、今後も県との連携を含め工夫しながら継続的に行っていく。
- 問 平成30年度から、中学生までの子ども医療費について窓口無料化になるが、新たに申請などの手続きは必要になるのか。
- 答 受診の際に、新たな受給者証を医療機関窓口へ提示すればよく、特段の手続きはいらない。
- 問 多機関の協働による包括的支援体制構築事業について、今度どのような相談支援体制を構築していくのか。
- 答 相談支援包括化推進会議を設置し、庁内関係部署および関係機関と協働のルールづくりなど、今後の方向性を検討しているところである。
- 問 振り込め詐欺などに対して、消費者行政推進事業の消費者センター機能はどのように強化していくのか。
- 答 通話録音装置の貸し出し数を増やし、これまでも有効であった出前講座の開催数を増やすなど、広く市民に周知していく。

### 教育委員会

- 問 小学校の英語教育について、現在の授業内容はどのようにになっているのか。
- 答 英語や外国語の文化に慣れ親しむということを中心に行っている。  
平成30年度からは5・6年生が英語科、3・4年生が英語活動ということで、学習指導要領に準じた内容になる。

- 問 教師の負担を軽減するための取り組みについて、各学校からの要望は満たされているのか。
- 答 学級サポーターや中学校での相談員、平成30年度から市が主体となる学校運営支援員など、各学校と協議し優先的に対応が必要な児童、生徒を中心に配置している。
- 問 教師の研修や事例発表などの取り組みはどうなっているのか。
- 答 全ての学校に導入している遠隔システムを活用し、優れた教師の授業を発信、研修を学校内で受講できるような体制を整備したい。
- 問 ハートピア春江の修繕、改修について、いつごろから計画的に実施するのか。
- 答 平成30年度に基本設計、平成31年度に実施設計、平成32年度に着工の予定である。
- 問 図書館のシステムが新しくなったが、どのように変わったのか。
- 答 大きな変更点は、利用者の読書履歴が検索できるシステムが導入されたことにより、利用者が読書目標を立てやすくなった。  
このほか、ホームページや資料検索が以前より利用しやすくなった。

- 問 平成30年にいよいよ国体が開催されるが、ボランティアの確保はできているのか。
- 答 国体開催には、延べ900人のボランティアが必要と考えている。  
現在の応募状況は500人ほどなので、今後は1人複数日の出勤などで調整を図っていきたい。

### 三国病院

- 問 経営コンサルタントからどのような指導、助言を受けているのか。
- 答 医師、看護師など病院職員への研修、毎月開催している経営戦略会議へのサポートなどを受けている。  
経営コンサルタントからの指導、助言により、職員の意識改革が図られ、その結果入院収益が増収になると見込まれる。
- 問 セカンドオピニオン相談料が新設されたが、低所得者に対しても一律同額なのか。
- 答 現時点では他の病院も一律の料金となっている。  
今後は、県立病院や他の病院を参考に、減免について検討したい。



▲新築予定の三国学校給食センター

# 産業建設常任委員会報告



▲委員会の様子

## 主な質疑内容

### 産業環境部

- 問 ユリの生産拡大と交流人口の増加を目的に、地域おこし協力隊を募集していたが、応募者なしに終わった理由は。
- 答 春江町大牧地区は田園が広がる農村地域ではあるものの、都会の若者が想像する「秘境地のような田舎」というイメージと合致しなかったことと、給与額が全国相場より低かったことが考えられる。
- 問 ゆりの里公園周辺の水田花壇化事業の平成30年度での実施予定は。
- 答 ブドウのハウスを2棟施工予定であり、花壇については、概ね方向性の協議は整ったが、詳細については今後、地元地区や地権者の意向を聴きながら協議を進めていきたい。
- 問 大雪で倒壊した農業ハウスへの支援体制はどのようなになっているのか。
- 答 現在、坂井市で約375棟の被害があり、市長が直接農林水産省に出向いて支援を要望している。  
県の坂井農林総合事務所やJ Aとの打ち合わせも行っているところである。

- 問 雪害によるイノシシ被害防止金網柵やネット柵破損に対して、修繕費用の支援策はあるのか。
- 答 地区の役員と4月に打ち合わせを行う予定で、市への要望事項などを聞いていきたい。
- 問 幕末明治福井150年博実行委員会負担金とあるが、市としてどのようにアピールするのか。
- 答 平成30年7月に開催予定の北前船寄港地フォーラムを機会として、北前船の歴史、文化などの紹介、展示などでアピールしていきたい。
- 問 クルーズ船誘致事業として国内船社が3社あげられているが、寄港は可能なのか。
- 答 国内船社の5万トンクラスの船であれば寄港が可能で、「飛鳥II」「ばしふいっくびいなす」「にっぽん丸」の3社は福井港への入港実績もあり、営業活動もかけやすいと考えている。
- 問 小中学校のPTAを対象に資源回収チャレンジランキングを実施するが、その方法は。
- 答 雑がみ回収ボックスの校内設置、および雑がみ回収バッグを児童・生徒に配布して、各家庭で雑がみの分別に取り組んでもらうことが参加条件である。  
通常の資源回収の量と合わせて、対前年度からの伸び率によってランキングを決定する。
- 問 市内で犬や猫約400匹を過密状態で飼育していると新聞報道されたが、市の対応は。
- 答 平成29年12月に坂井健康福祉センターの職員と一緒に立ち入り調査を行い、全頭狂犬病予防注射済を確認、徐々に頭数を減らして飼育環境の改善を図るよう指導を行い、計画的に改善されている状態である。  
指導権限は県にあるが、今後も県とともに適正な管理を行うように指導していきたい。

### 建設部

- 問 平成29年度予算で除雪機械購入費が計上されているが、購入しなかった理由は。
- 答 この除雪機械とは、幹線道路を除雪するための大型トラックで時速40キロメートルの高速で走行できるものである。  
業者に貸し出して除雪対応にあたる計画で、3年前から国の交付金を申請してきたが、今回も不採択により購入できなかった。
- 問 幹線道路である宮領北部線、沖布目森田線の道路改良の見通しは。
- 答 どちらも国の交付金の重点配分事業に該当しないため、予算が確保しにくい現状である。  
今後は重点配分事業に見合うような位置づけで、県と協議して進めていく。
- 問 平成29年度末に三国駅舎が完成するが、将来えちぜん鉄道に譲渡する考えはあるのか。
- 答 駅舎管理にかかる費用を算定するしばらくの間は市で直接管理し、ある程度管理費用を把握した後に指定管理を考えている。  
えちぜん鉄道には改札業務と乗車券販売にかかる部分の管理、および光熱水費については実費を負担してもらう。
- 問 JR春江駅駅舎の改築計画は。
- 答 平成29年12月にJR西日本から駅舎計画の協議についての回答があり、設計の準備段階の測量に着手している。  
平成30年度に実施設計業務の委託を行う計画である。
- 問 空き家対策には、市民への啓発活動が重要だと思いが。
- 答 空き家の利活用の相談会や、高齢者に対して今住んでいる住宅を将来どうするのか、考えてもらう機会を作れないか検討している。
- 問 今回大雪で市道がかなり傷んでいるが、平成30年度道路改良事業の当初予算では収まらないのでは。
- 答 路面の傷み、路肩に立っているポールやカーブミラー、ガードレールの破損などは市が補正予算で修繕していく。
- 問 除雪業者が災害対策本部と連絡が取れなかったり、除雪状況や排雪場所などテレビのテロップの活用が不十分だったり、情報の伝達、発信が弱いと感じたが。
- 答 情報発信が遅かったり、県道の除雪などでも県との連絡が密に取れなかったりしたのが現状で、今後の課題である。
- 問 石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用して防災道路に消雪設備を少しずつ作っていったらどうか。
- 答 消雪設備は初期投資および維持管理に多額の経費がかかるため難しい。  
幹線となる県道については、県に対して消雪設備の設置を要望していきたい。



▲新しい三国駅の改札口

文化行政の今後の取り組みは

問 坂井市未来文化会議はどのような内容の議論をしているのか。

また、その議論の成果はどのように文化行政に反映されるのか。

答 坂井市未来文化会議は平成24年に設立し、団体の代表や有識者12名で構成され、年間4回程度の会議を行っている。

文化のさらなる振興と文化行政の推進のために、専門的な所見はもろろんのこと、大所高所からの意見を聞いており、その意見は坂井市教育振興基本計画の中に反映させていきたいと考えている。

問 坂井市歴史文化基本構想の策定スケジュールは。

答 この構想は国では地域計画として法制度化されると聞くので、平成30年度から取り組み、平成33年度に策定する予定である。

職員の社会参加は重要

問 職員がまちづくり協議会などの地域活動に自主的に、積極的に参加することは、公務に取り組み上で、市民の立場を理解するのに大変役立つことだ。



上出 純宏

職員のモチベーション(やる気)を高めるために地域活動の経験談など発表の場を持つてはどうか。

答 平成24年に制定した坂井市まちづくり基本条例で、地域活動はその理念を明らかにしており、市の職員はもとより地域活動を実践する立場にあるので、積極的な参加を呼び掛けている。

これまでも職員による自主的なグループ研究を行っており、地域活動をテーマに継続していきたい。



▲六呂瀬山古墳群



上坂 健司

若者政策を

問 まちづくりにおける人的な「資源」である若者を本市に移住・定住させていくための施策は。

答 若者の思いや意見が市民提案型のまちづくりとなり、それがまちの活性化や、定住や他の地域からの移住の増加につながるものと考えている。

\*アーバンデザインセンターをアイデアの実現化の拠点とし、事業展開に期待したい。

問 アーバンデザインセンターの政策間連携や自立性はどうか。

答 他地域の設置の構想や、将来的には市全体の空き家の問題解消につながるような事業運営を考えている。

問 即効性のある若者の雇用の増大について、県が取り組んでいる「プラス1雇用」をモデルとした官民連携の若者を対象とした企業支援事業の政策展開はどうか。

答 プラス1雇用は給与などの2分の1の3カ月を補助する事業であるが、他市町レベルの取り組みはごくわずかであり、財源や運用体制など現状課題を分析する必要がある。



▲アーバンデザインセンター坂井

※アーバンデザインセンター…「公・民・学」が連携したまちづくりの推進組織・施設

宿泊・滞在型観光の促進を

問 宿泊施設の誘致や民泊の方策は今後、どう取り組むのか。

答 訪日外国人旅行者も安心して宿泊できる施設も視野に入れた誘致活動を、積極的に展開したい。

問 民泊の現状、今後はどうか。

答 現在、相談や問い合わせはない。誘致活動については、既存の宿泊施設への誘客を優先すべきであり、現段階では行政が積極的に取り組む必要はないと捉えている。

今回の雪害時における市の対応体制は

問 今回の除雪対応の大きな遅れの原因はなんだったのか。

答 早朝からの急な降雪で、除雪効率が低下したこと、気温が氷点下のため路面が圧雪状態になったことと、37年ぶりの大雪で、現在の除雪計画で想定されている機械能力以上に降雪したことが除雪対応の遅れにつながったものと考ええる。

問 本市の交通量の多い市道・県道などに消雪装置を求める声が多いが。

答 消雪装置については、建設時に多大な費用が必要となることから、費用対効果を考慮し、機械除雪において対応していくが、幹線となる主要な県道については消雪設備の設置を県に要望していきたい。

問 排雪場所の確保はどのように行っていくのか。

答 排雪場所の確保については、道路除排雪のための排雪場は各地区に1カ所ずつ設置し、一般向けの排雪については、その周辺の幹線道路の除排雪完了後に受け入れる予定である。

問 国道8号であわら市熊坂から本市丸岡町の約10キロ区間、1500



渡辺 竜彦

台の車が立ち往生した時の本市の対応は。

答 本市においてはパン・飲み物を購入し、給食センターでおにぎりを作り、ドライブインなどに配布した。

問 市内の小中学校・幼保園などの豪雪時の対応は。

答 小中学校の授業に関しては安全確保を優先に4日間を臨時休校とした。

また幼保園については、豪雪時でも就労などの理由で保育を必要とする保護者がいるということと、休園することなく、通常通り開園した。



▲除雪情報を地図上に落とした様子(除雪対策室)

運転免許自主返納の必要性

問 本市の自主返納率は。

答 65歳以上の運転者で、平成29年の自主返納者は835人で、65歳以上の運転免許保有者の約5%、前年からは1.6倍増加である。

問 自主返納促進はどのように行っていくのか。

答 自主返納者に対して、コミュニティバスの10年間無料乗車券を発行している。

各種会合や広報さかい、ケーブルテレビなどを利用して周知を図っていく。

問 本市は自主返納に対する必要性をどのように考えているのか。

答 高齢運転者の交通事故防止対策は国の抱える重要な課題であり、国、県と連携して取り組むべき重要な対策の一つと考える。

問 健康な高齢者を増やしていく中でも自主返納ありきで考えるのではなく、市の健康診断で運転適応テストなど実施できないのか。

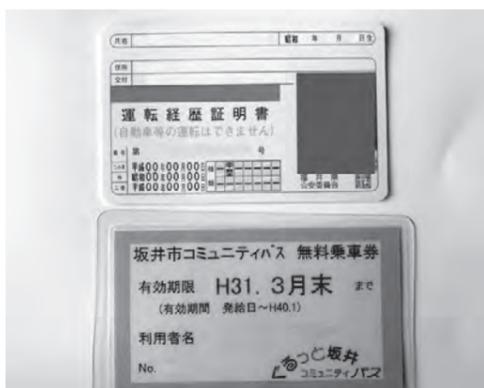
答 免許更新時に、認知症などの的確な検査があると聞いている。本市としても可能であるかどうか今後調査して対応を考えていく。



後藤 寿和

問 厚生労働省と国土交通省は返納者、買い物に困っている高齢者に介護保険制度の送迎サービスを活用する方針だが、本市はどのように対応していくのか。

答 介護保険制度において、交通事業者、介護事業者などの相互理解のもと、連携を図りながら高齢者の移動手段について検討していく。



▲上:運転経歴証明書(運転免許自主返納時に交付される証明書) 下:コミュニティバス無料乗車券

豪雪の教訓を生かし、雪に強いまちづくりを

**問** 除雪順や排雪など市民への情報が不十分だった点をどう考えるか。  
**答** 市民からより多くの情報を求める声があり、これを教訓として情報提供を含めた体制の充実を図っていく。

**問** 除雪順については、業者任せではなく、市と協議しておくことで、市民への説明もできたのでは。  
**答** 委託業者に作業工程を委ねることが最善と考えるが、今後は委託業者と十分協議していきたい。

**問** 消融雪をしないという市の方針の見直しも検討すべきでは。  
**答** 消雪装置には多大な費用が必要となり、今後も機械除雪で対応していく。

コミュニティバスを通学、福祉、観光に生かすために、増便を求める

**問** コミバスの改善に合わせ、スクールバスと共有できる路線をコミュニティバスに代行するという可能性の検討を。  
**答** 竹田地区はコミュニティバスを登校時にスクールバスとして利用しているが、



▲地域住民による除雪の様子



畑野麻美子

他地区においては、現状を考えると多くの課題があり、困難である。昼の時間帯は高齢者の通院など利用しやすい時刻に。  
**問** 現在のコミュニティバスは、限られた便数の中で最善と思われる時間帯でダイヤを設定している。  
**答** 土、日の試行運行をしては、費用対効果の点からも、土、日の運行は困難である。

坂井市奨学育英資金は貸付型でなく給付型に

**問** 奨学育英資金は給付型にすべき。  
**答** 今のところ給付型にすることは考えていないが、今後においては検討していきたい。

大雪被害の農業用ビニールハウスに支援を

**問** 農業者負担がないような補助制度を国に求めるとともに、市が事業実施主体となって支援すべきと思うが、見解は。  
**答** 平成26年2月の関東甲信地方の大雪では、ビニールハウスの被害は1千億円を超えており、農業被害額の3分の2を占めているとのこと。

この事態を受け、国や県、市町村の補助などにより、農業用施設の撤去費用や再建・修繕に要する費用への支援が実施された。支援内容は、被災した農業用施設の撤去については国と市が100%支援を行い、施設の復旧・修繕に関しては国50%、県と市が40%以内の補助を行うものであった。

このような農業者負担がないような補助制度を直接、国に要請したところである。今後も積極的に働きかけ、国の事業が可能となれば、農業者が最小限の負担で1日も早く施設を復旧できるよう全力を挙げて支援する。



▲大雪被害を受けた農業用ビニールハウス

保育士の負担軽減を図り保育に専念できる環境を

**問** 送迎時に見てもらおうボランティア制度を創設しては。  
**答** 平成30年度から予定している坂井市保育士バンクにより、安定した保育士確保対策を展開する。市独自のボランティア制度は検討する。



永井 純一

国民健康保険税の引き上げは撤回を

**問** 市は国民健康保険税の引き上げ議案を出している。  
**答** ①国保税が加入者に重い負担になっているという自覚はあるか。②市はこれまで国保会計に繰入を行ってきた。繰り入れてはならない論拠はない。③子どもの均等割の減免、低所得者対策を強める、滞納税を加入者負担としない、などの対策を。

**問** 9割の世帯が、総所得300万円以下で、そのうち55%が軽減措置を受けている。  
**答** ②国保制度改革により、特別会計の財政安定化と一般会計からの法定外繰入の解消が目標とされた。③低所得者対策などの財源を法定外繰入、市税に求めることは市民の理解が得られない。  
**問** 低所得者が9割の世帯で、所得に対する負担割合は他の保険に比べ高い。  
**答** ほぼ全ての人が退職すると国保に入ることから市民全体の問題。国や県の指導があり、税率改定した。



松本 朗

越前三国競艇企業団の企業長・議員報酬は抜本的な見直しを

**問** 公営ギャンブルの存在意義は何か。年間の企業長報酬195万円、企業団議員報酬40万円は市民の理解が得られない。  
**答** 報酬の抜本的な見直しが必要。公営競技は、その収益をもって社会福祉などの増進を図るための財源に充てること。  
**問** 越前三国競艇企業団は市の一般会計からの繰入は受けていない。企業団に関することは企業団で決める。  
**答** 越前三国競艇企業団は市の一般会計からの繰入は受けていない。企業団に関することは企業団で決める。



▲市立三国病院

平成29年度 一般会計3月補正予算概要

補正額 11億6,839万円 (補正後の額 409億5,147万円)

<p><b>◆ 私立保育所保育業務委託事業 6,710万円</b>                  人事院勧告による公定価格の引き上げや委託料算定基準の改正などによる増額。</p>	<p><b>◆ 新幹線対策事業 △2,422万円</b>                  県事業補助金の額の確定に伴う工事請負費などの減額。</p>
<p><b>◆ 国民健康保険特別会計繰出金 △1億8,537万円</b>                  国庫・県支出金の確定による法定内繰出金の減額および国保特別会計の収支見込による法定外繰出金の減額。</p>	<p><b>◆ 除雪対策事業 7億3,750万円</b>                  1・2月の大雪、雪害にかかる除雪業務委託料などの増額。</p>
<p><b>◆ 県営かんがい排水事業 1,878万円</b>                  県営かんがい排水事業費の確定に伴う増額。</p>	<p><b>◆ 沖布目森田線道路改良事業 △1億3,935万円</b>                  道路改良工事にかかる国庫支出金の減額に伴う事業費の減額。</p>
<p><b>◆ 漁港施設管理事業 △8,650万円</b>                  県道拡幅に伴う梶漁港改修工事の中止による減額。</p>	<p><b>◆ 体育施設管理事業 △3,461万円</b>                  丸岡B&amp;G海洋センター改修工事の延期や丸岡スポーツランド一部施設撤去費用を鉄道・運輸機構が負担することによる減額。</p>

# 定例会審議結果

★ 3月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 一…議長のため原則採決に参加できない

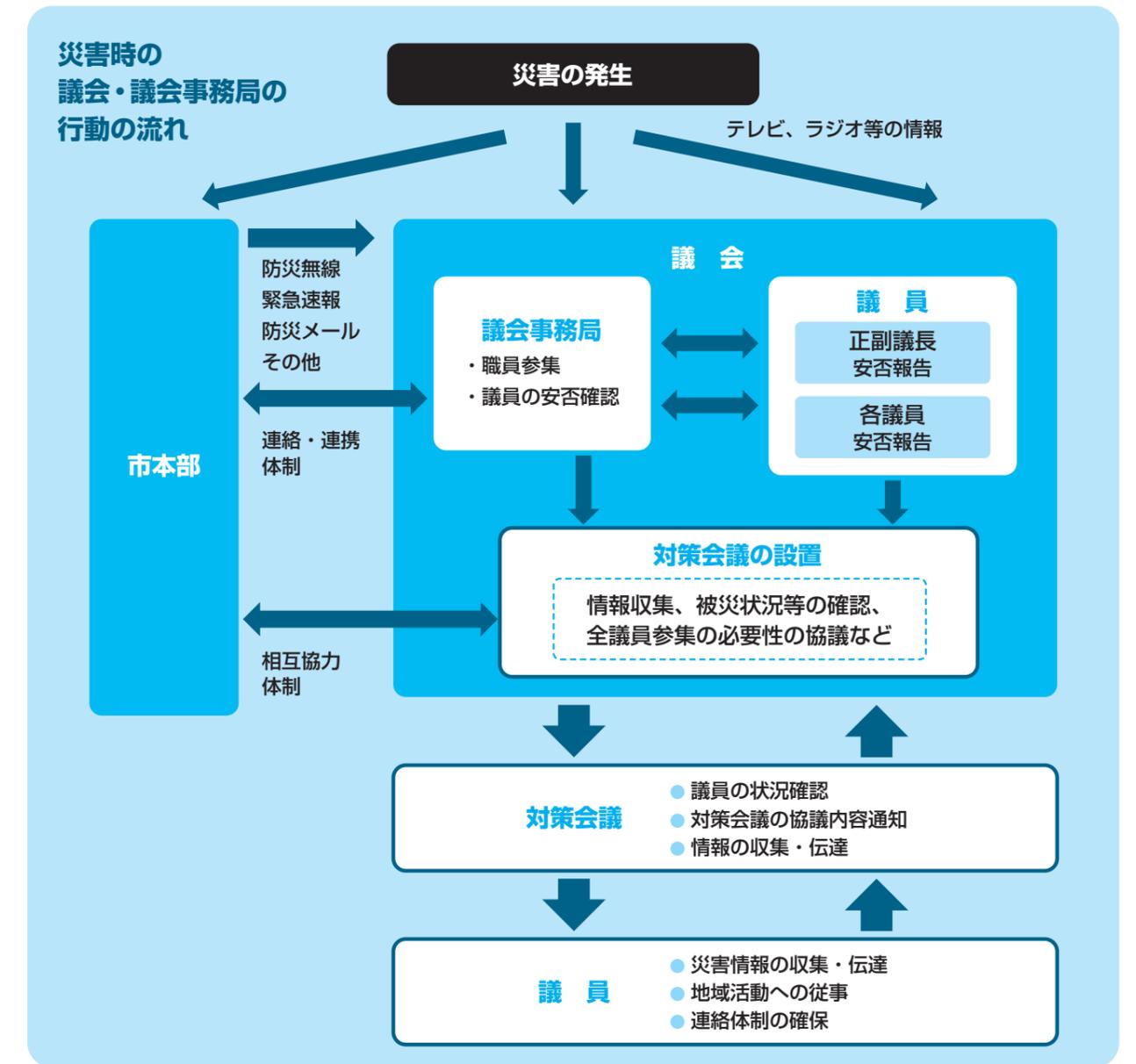
議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
			小原慶之	後藤寿和	川端精治	渡辺竜彦	前川直人	南川直人	上坂健司	戸板進	吉川信二	古屋純宏	田中哲治	佐藤寛治	松本朗	東野崇治	伊藤聖一	辻人志	川畑孝治	前田嘉彦	橋本充雄	永井純一	畑野麻子	山田栄	広瀬潤一	田中千賀子	木村強	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(坂井市税条例の一部を改正する条例について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度坂井市一般会計補正予算(第6号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	平成29年度坂井市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成29年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成29年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成29年度坂井市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成29年度坂井市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成30年度坂井市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成30年度坂井市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成30年度坂井市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成30年度坂井市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度坂井市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度坂井市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成30年度坂井市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	福井県市町総合事務組合規約の変更および財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	坂井市アーバンデザインセンター条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	坂井市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	坂井市税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	坂井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	坂井市立認定こども園条例等の一部を改正する等の条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	坂井市子ども医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	坂井市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	坂井市三国希望園条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	坂井市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	坂井市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	坂井市立三国病院使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	坂井市春江女性の家条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成29年度坂井市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	坂井市議会基本条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	坂井市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	大雪による被災農家に対する支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26

# 坂井市議会BCP(業務継続計画)を策定しました

BCPとは、Business Continuity Plan(業務継続計画)の略であり、災害や事故など不測の事態を想定し、業務継続の視点から対応策をまとめたものです。

今回策定したこの坂井市議会BCPは、市内で大規模災害などの緊急事態が発生した際に、市民の生命、身体および財産を保護し、並びに市民生活の平穏を確保するため、総合的かつ機動的な活動が図られるよう、市議会および議員がどのように対応すべきか、共通の認識を持ち、議会としての体制の整備を行うものです。

なお、このBCPでは、災害発生直後から、議会機能を概ね平常に運用できるまでの期間を想定し、当該期間における議会・議員などの役割や具体的な行動などについて決めました。



また、市議会では、坂井市議会BCPの策定を踏まえ、災害時における議会と議会事務局の体制や行動基準、非常時優先業務の内容などを検証・点検し、より実効性のあるものとするため、併せて災害に対する危機意識を高める観点から、議員と議会事務局職員を対象とした防災訓練(机上訓練・図上演習など含む。)を毎年1回は実施します。

# 広域連合・一部事務組合議会報告

## 福井県後期高齢者医療広域連合

県内すべての市町で構成。  
被保険者の資格の管理や保険料の決定、医療の給付などに関する事務を行う。

- 平成29年11月：第2回定例会
  - 平成29年度一般会計補正予算 他6件を可決・同意・受理

### 主な議案

- ・平成28年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について 可決
- ・平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算 可決

## 嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。

- 平成29年12月：第3回臨時会
  - 平成28年度一般会計歳入歳出決算認定について 可決
  - 平成29年度一般会計補正予算 可決
  - 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 可決

## 越前三国競艇企業団

坂井市と越前市で構成。  
競艇事業の運営を行う。

- 平成29年12月：第3回臨時会
  - 平成29年度モーターボート競走事業会計補正予算 可決
  - 特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について 可決

## 五領川公共下水道事務組合

坂井市と永平寺町で構成。  
九頭竜川廃川敷およびその周辺の区域に係る公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理に関する事務を行う。

- 平成29年11月：第101回定例会
  - 特別職の職員の旅費及び費用弁償に関する条例の制定について 可決

## ● 次回の議会報告会は… ●

3月定例会の報告と意見交換会を行います。議会や市政に対するご意見をお聞かせください。  
住所に関係なく、どの会場でも参加できます。

開催日時	会場			
5月22日(火) 午後7時～	春江中コミュニティセンター	3階301会議室	春江町随応寺17-17	TEL 51-9421
	東十郷コミュニティセンター	多目的ホール	坂井町長畑25-11-1	TEL 66-4567
5月23日(水) 午後7時～	みくに市民センター	会議室	三国町中央1丁目5-1	TEL 87-7200
	高椋コミュニティセンター	3階大会議室	丸岡町西里丸岡12-21-1	TEL 68-0843

### 編集後記

冬が大雪であつても、必ず春が来て桜が咲き誇ります。

雪道の交差点で動けなくなった車がある。すると後続の車から一人一人と降りてきて、交通整理をする者、ハンドルの操作を指示する者、数人が車の後ろにつき「せーの」と押し出す。「止まるな、まっすぐ行け」と声をかけ、その後は無言で自分の車に戻る。

ヒトの初期設定は「善なる者」「仁なる者」と以前に教わったことがあります。大雪の被害に遭遇して、まさに人間の本质を感じた出来事でした。

正しい行い(善)、相手をおもんばかる気持ち(仁)を持って、4年の任期を私たちは全うできるように努めてまいりました。最後までご愛読ありがとうございました。

(前川 徹)



※問い合わせや議会だよりに対するご意見がありましたら、左記の議会事務局連絡先までご連絡ください。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。